BG2022用

経営情報学部　総合経営学科　グローバル経営情報コース　カリキュラムツリー

学修分野・ゼミナール等

経営分野

グローバル経営情報コースの全員は、経営学を学ぶ上で必要不可欠な知識を「経済学基礎」、「経営管理基礎」、「マーケティング基礎」並びに「ロジスティクス基礎」の授業において学ぶ。

経営分野を選択した学生は、上記をその土台とし、興味に応じて、「経営管理」、「マーケティング戦略」、「マーケティングサイエンス」、「ロジスティクス」に関して修得していく。

会計分野

グローバル経営情報コースの全員は、経営学を学ぶ上で必要不可欠な知識を「会計基礎」並びに「ファイナンス基礎」の授業において学ぶ。

会計分野を選択した学生は、上記をその土台とし、興味に応じて、「財務会計」、「管理会計」、「経営分析」、「会社法・税法」「ファイナンシャルプランニング」、「ファイナンス」に関して修得していく。

情報マネジメント分野

グローバル経営情報コースの全員は、企業経営に必要不可欠な情報通信技術（ICT）の知識とともに、企業経営での活用に関するフレームワークを「PC基礎」、「経営情報論基礎」並びに「情報通信技術基礎」の授業において学ぶ。

情報マネジメント分野を選択した学生は、上記をその土台とし、興味に応じて、「経営情報論」、「情報通信技術」、「アプリケーション技術」に関して修得していく。

グローバル・コミュニケーション分野

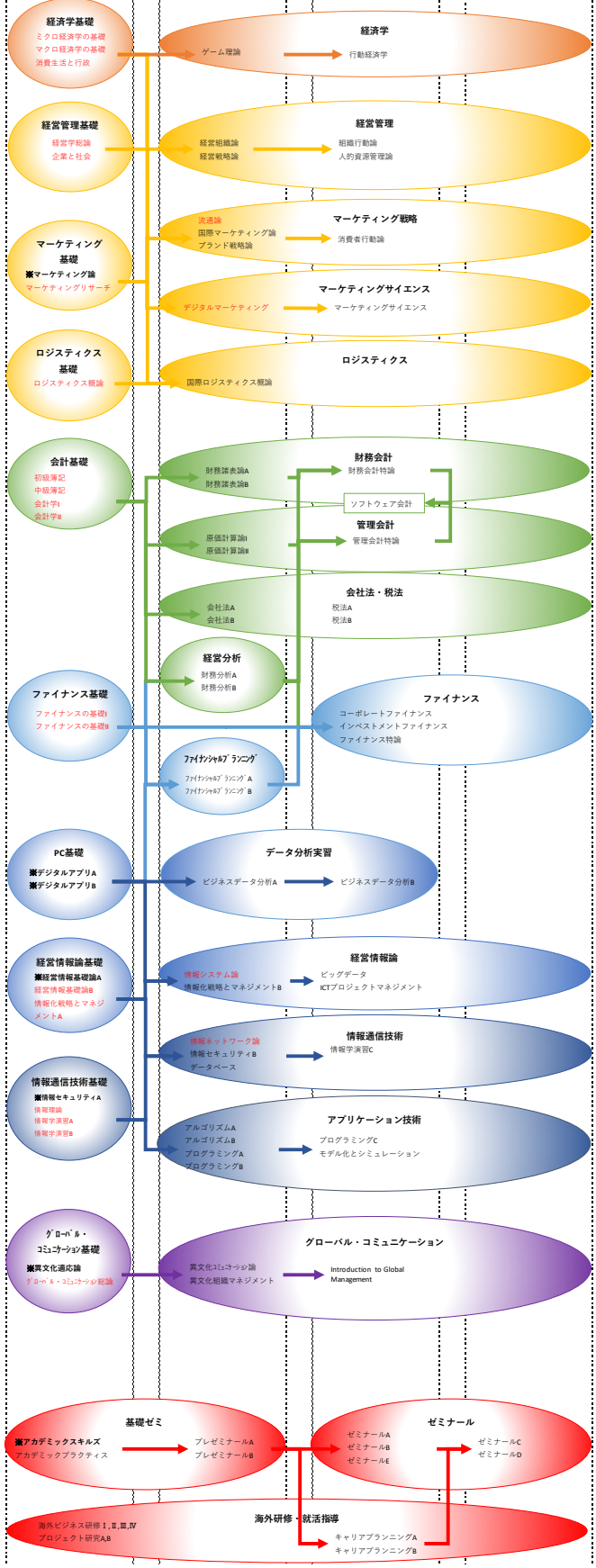
グローバル経営情報コースの全員はコミュニケーションの知識とスキルを「グローバル・コミュニケーション基礎」の授業において学ぶ。

グローバル・コミュニケーション分野を選択した学生は、上記を土台とした上で、「グローバル・コミュニケーション」に関して修得していく。

キャリア形成・ゼミナール

グローバル経営情報コースの全員は、４年間を通して「基礎ゼミ」と「ゼミナール」について学ぶ。
または必要に応じて「海外研修・就活指導」の内容についても学ぶ。

1年次 / 2年次 / 3年次 / 4年次



養成される力

「経済学基礎」：経営に関わる経済の仕組みに関する知識
「経営管理基礎」：経営学分野の知識
「マーケティング基礎」：マーケティングの基礎知識
「ロジスティクス基礎」：ロジスティクスの基礎知識
「経済学」：経済学理論の知識
「経営管理」：企業経営をマネジメントする知識とスキル
「マーケティング戦略」：マーケティング活動を立案するための知識とスキル
「マーケティングサイエンス」：データを活用したマーケティング活動を行うための知識とスキル
「ロジスティクス」：ロジスティクスの知識とスキル

「会計基礎」：経営学を学ぶ上で必要な基礎的な会計知識
「ファイナンス基礎」：経営学を学ぶ上で必要な基礎的なファイナンス知識
「財務会計」：財務会計分野の知識
「管理会計」：管理会計分野の知識
「経営分析」：有価証券報告書を読みこなす上で必要な知識とスキル
「会社法・税法」：経営を学ぶ上で必要な会社法や税法に関する知識
「ファイナンス」：ファイナンスの知識

「PC基礎」：大学での学びに必要なPCの使用方法の基礎を学ぶ。
「経営情報論基礎礎」：経営とICTを有機的に結びつけ，経営の改革，革新に活かす基礎知識体系
「情報通信技術基礎」：経営情報論を学ぶ上で必要な基礎的なICTの知識
「データ分析実習」：大学や仕事で必要なデータの扱い方を学ぶ。
「経営情報論」：経営にICTを活用する実践的なフレームワーク（知識体系）
「情報通信技術」：経営を支える情報通信技術体系
「アプリケーション技術」：アプリケーションソフトウェアを開発するための基礎知識体系並びに応用技術

「グローバル・コミュニケーション基礎」：　外国人や異文化の人々とのコミュニケーションの基礎知識・技術を学ぶ。
「グローバル・コミュニケーション」：　外国人や異文化の人々とのコミュニケーションの知識・技術を学ぶ。

「基礎ゼミ」：大学生として必要な技能を学ぶ。
「ゼミナール」：自身が選択した分野や領域における知識・技能を深く学ぶ。
「海外研修・就活指導」：国際交流研修や就活対策について学ぶ。

学修成果

「経営全般に関する幅広い知識」と「特定の専門分野についての深い知識・技能」を修得する。これは本学部のDP1の要件を満たすものであると考える。
また現代の経営において必要不可欠なICTを活用する知識や能力を身につけることは、DP2の要件を満たすものであると考える。
さらに、経営全般の知識やスキルを取得することは、DP3に示されている多様な価値観や異文化社会との意思疎通においても有用であると考える。また経営に関する深い知識・技能を有することは、DP5に示されている状況把握と課題発見、及びその解決策に寄与するものと考える。

「経営全般に関する幅広い知識」に含まれる会計知識や、同じく会計ファイナンス領域を対象とした「特定の専門分野についての深い知識・技能」を修得する。これは本学部のDP1の要件を満たすものであると考える。
またこれらの情報の取り扱い方の習熟や計算演習を通じることでICT関連技術を学修していくが、これは本学部のDP2に関連するものであると考える。
また会計やファイナンスに関する深い知識・技能を有することは、DP5に示されている状況把握と課題発見、及びその解決に寄与するものと考える。

「企業経営に不可欠なICTに関する知識」および「ICTと企業経営を結びつけるフレームワークについての知識・技能」を修得する。これは本学部のDP1並びにDP2の要件を満たすものであると考える。
さらに、ICTと経営情報論に関する深い知識・技能を有することは、DP5に示されている状況把握と課題発見、及びその解決策に寄与するものと考える。

異文化への理解とそのコミュニケーションの知識は「経営全般に関する幅広い知識」に含まれており、DP１の要件を満たすものである。
また学修の過程において、DP3の「多様な価値観や異文化社会への理解」やDP4の「社会人として必要な自律性、協調性」を学んでいく。

学修の仮定において、DP4に示されている「社会人として必要な倫理と自律性、協調性」、及び「」

注　先頭に※がついているのは全学基盤共通科目群の科目(表中ボールド)
赤字は専門基礎科目群の科目